

東京大学公共政策大学院  
高瀬美帆

私が今回の Pacific Economic Cooperation Council (PECC) Next Generation Program に参加したことで得られたものは、新しいことを学ぶことの楽しさと出会いを大切にする気持ちである。

TPP や都市計画といった普段報道等で目にすることの多かった『旬』な話題について、最前線で活動している方々からお話ししていただけたことはとても貴重な体験だった。参加にあたって、会議のトピックについて自分で予め考えること、疑問に思ったことを質問すること、実際に問題に取り組んでいる方から話を聞くこと、といったサイクルを体験することで、問題に対する理解も深まり新たな関心テーマを持つことが出来た。また、自分の力だけでは分かり得なかったことをプレゼンやディスカッションを通じて吸収し解明していくことに非常に楽しみを覚えた。

一方で、青年使節団の多くの学生と知り合えたことで公式な会議以外の時間も大変有意義に過ごせた。初めての国際会議を前に緊張や不安もあったが、運営側のはからいでホテルにはルームメイトがいたので、お互いの趣味や大学院での勉強などについて、簡単な日常会話を重ねることで常に前向きな姿勢で楽しく本会議にも臨めた。こういった経験を通して、国際会議とはお互いの利益を主張する戦場のような場所ではなく、相手を思いやり信頼関係を築くことから生まれる利益を享受する場であると感じた。帰国した現在でも会議のテーマについて世界中の友人と話し合ったり、日本での自分の研究内容の相談をしたりと頻繁に連絡を取り合っている。

PECC での経験は、私の今後の大学院での研究生生活と私生活の両方を豊かなものにしてくれると信じている。